

「先生……なんで、先生になったんですか？」

そう、これを訊きたかったから。答えを知りたかったから。日記の提出日まで待ちきれなかったから。訊きたいことがあれば、訊くしかない。答えを知りたければ、尋ねるしかない。ものすごく簡単なことで、ものすごく難しいことで、でも、いま、わたしはそれができた。

少し考えてから、先生は言った。

「俺みたいな先生が必要な生徒もいるから。先生には、いろんな先生がいたほうがいいんだ。生徒にも、いろんな生徒がいるんだから」

そうだろう？ と逆に訊かれた。

(重松清「ハンカチ」——短篇集『青い鳥』所収——より)

知の冒険

北九ブロック教研(V)

一緒に学びましょう

花 木 康 郎

不祥事続きの文科省のもと、生徒と教育現場に混乱と多忙を押し付ける「大学入試改革」が進められています。また、二〇二二年度より実施となる改訂「学習指導要領」では、教科等の目標の全てが「詰め込み教育」「復活を意図するかのようない質・能力」の育成とされており、その目標達成に向けて生徒を更に追い立てることになるのではとの懸念を拭えずにいます。「子どもの貧困」は一層深刻化し、「いじめ」や「不登校」をはじめとする様々な教育課題が山積する中、時の政府に迎合する教育行政が、現場の実態などお構いなしに進められているのが現実です。

こうしたなか、私たちは、生徒を「主権者」としてとらえることを基本に据え、自主的・主体的・能動的な学び(「アクティブラーニング」)の創造に向けて、それぞれの職場で日々の教育活動を展開しているところですが、それらの実践を持ち寄り、学ぶ喜びを、生徒、そうして教員が共に実感できる教育のあるべき姿について議論を深め、考える機会として「教育研究集会(＝教研)」を実施しています。本年度は、五回目という節目の「北九ブロック教研」を北九州市立大学で開催できることになりました。幸いなことに、当大学教授であり、新たな学びの形を精力的に展開されている竹川大介先生を全体会の講師としてお迎えすることが叶いました。「知の冒険」と題した今回の「北九ブロック教研」、主催者の一員としてワクワクする思いです。この機会に、ぜひ市民の皆さんや将来教育関係の職を目指している学生さんと一緒に学びたいと思っています。ご参加をお待ちしています。

北九西支部長(八幡中央分会)

第5回『北九ブロック教研』

●日時 8月25日(土) 13:00

●会場 北九州市立大学

●分科会 6分科会 (*「総合」は職業・その他)

- | | |
|-------------|------------|
| ◆日本語 (D301) | ◆英語 (B301) |
| ◆社会 (B302) | ◆数学 (B303) |
| ◆理科 (D301) | ◆総合 (D301) |

●全体会 講演(15:30)(D301)

講師 竹川大介さん

演題 野研! 大学が野に出た

—フィールドワーク教育と大学堂—

*全体会(講演)のみの参加も大歓迎です。

おもしろさが人を導きます。何におもしろさを感じるか。これは人によって違います。ですから、まず、その人が「やりたい」と思わない限り、最初のアクションは起きません。それはほんの小さな動機でかまいません。自分がやりたいことをおもしろがっている人を、私たちは「達人」と呼びます。



(MAMMO-TV #369「新たな学びは失敗を通じて得られる」より)

●竹川大介さんのふろふいーる

◆北九州市立大学文学部人間関係学科教授

大学のHPによれば、「沖縄やアジア・太平洋の海洋民に関する生態人類学研究」を専門分野とするも、「大學堂」の取り組みや「大学の中」にありながら地域に開かれている新しい「映画館」である『北方シネマ』の世話人の活動に見られるように、フィールドワークの手法を駆使し知的好奇心の赴くままに様々な分野に研究対象を拡げる行動する学者である。

*「知の冒険者」竹川さんの詳細は『人類学の遊園地・大介研究室』(ネット公開中)を参照されたし。

*『北九ブロック教研』に関する問い合わせ先…京築支部教文部長・藤田昭司(☎090-9472-5089 mail=mugiho131@hotmail.com)

■主催:福岡県高等学校教職員組合・北九ブロック(京築支部・北九東支部・北九西支部)